

目 次

カナディアンフリーネス計CFS校正	2
ISO標準紙を用いた分光光度計の校正	3
破裂試験機用校正アルミフォイル	4
規格適合 標準パルプ 1-04	5
規格適合 標準パルプ 5-96	7
規格適合 標準パルプ E-16	9

カナダ規格審議会
認定試験所認定の範囲262

FPIinnovationのすべての物性試験及び品質保証サービスは、カナダの StandardsCouncilによって ISO17025認定を受けています。それらは当組織の顧客のISO9000品質保証要求事項を遵守します。

CONTACT:
info@igt.co.jp

アイジーティ・テストングシステムズ株式会社
〒285-0804 千葉県佐倉市馬渡1229-1 tel: 043-308-7302
www.igt.co.jp info@igt.co.jp



カナディアン・フリーネス計（CFS） の校正



FPInnovationは、カナディアン・フリーネス計の開発、製造販売を行ってきました。フリーネス計にとって試験及びスクリーンプレートのISOに準拠した校正は、パルプ品質を確実にする上で最も重要なことと考えており、お客様への校正サービスを重要な課題として取り組んでいます。

世界唯一のISO基準ラボ （スタンダーライジングラボ）

当組織FP Innovationsは、カナディアン・フリーネス計（CSF）の基準ラボ（スタンダーライジングラボ）として、世界で唯一ISOより認証を受けており、ISO認証のスクリーンプレートの販売や、使用中のCFSテストの修理、校正期間中のフリーネステストの貸与も有償にてお受けします。

CONTACT

info@igt.co.jp
A

アイジーティ・テストシステムズ株式会社
〒285-0804 千葉県佐倉市馬渡1229-1
tel: 043-308-7302 www.igt.co.jp

Follow us



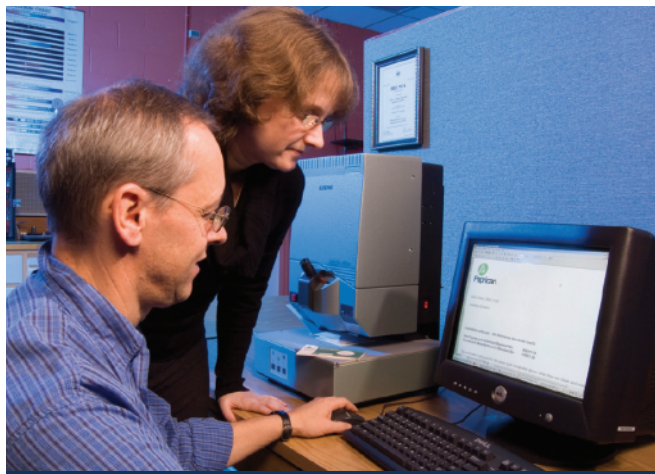
ISO標準紙を用いた分光光度計の校正

カナダ規格審議会
認定試験所認定の範囲262



カナダ規格審議会
認定試験所認定262 TM

当組織のすべての物理試験及び品質保証サービスは、カナダの StandardsCouncilによって ISO17025認定を受けています。それらは当組織の顧客のISO 9000 品質保証要求事項を遵守します。



白色度及び色分析のための正確な校正 漂白コストの削減と顧客の品質要求に適用。

ISO-認証ラボ（ISOオーソライズドラボ）

分光光度計の定期的な校正は、光学測定ユーザー様の再現性と信頼性の要件を満たすために不可欠です。

FPIinnovationsのオプティカル分析室は、35年以上の光学分析の経験があり、ISO2469、2470-1、および11475に準拠して、ISO白色度、D光源白色度及び色分析をおこなうためのIR3標準白色面を発行しています。また、色差に関係するさまざまな問題を解決するための相談や診断機器の提供もおこなっています。私たちはこの分野における技術革新を積極的に追求し、ISO規格の開発に貢献しています。

ISO2470-1では蛍光白色面の校正も含むようになりました。そのため、当社のIR3標準白色面は、反射率と紫外線光量の校正が可能な無蛍光白色面と蛍光白色面の2種類のタブで構成されています。また、それぞれのタブに校正証書が付随します。他にもエルレフォのためのCD校正値も提供できます。この標準白色面は、カナダ国立研究所（NRC）のISO基準ラボ（ISOスタンダードライジングラボ）にトレーサビリティが可能です。それらはISO9001の品質管理要件に準拠しています。

ISO標準白色面は年間プログラムとして、毎月、隔月、および四半期ごとにお届け可能です。

当組織が提供します:

・反射率と蛍光量を校正するIR3標準白色面

色の分析とコンサルティング



破裂試験機校正用アルミfoil

カナダ規格審議会
認定試験所認定262



カナダ規格審議会
認定試験所認定262™

当組織のすべての物理試験及び品質保証サービスは、カナダの StandardsCouncilによって ISO17025認定を受けています。それらは当組織の顧客のISO 9000品質保証要求事項を遵守します。



破裂試験機をチェックするためのモデル"A"（高圧）および"C"（低圧）の注文情報

StBurst Testersの全体的な性能をチェックするための標準化されたアルミfoilは、2つのフォーマットで販売されています。

- ・ スモールパッケージ（S）：パッケージには10枚のシートが含まれており、各シートのサイズは3インチ×3インチです。
- ・ ラージパッケージ（L）：パッケージには5枚のシートが含まれており、各シートのサイズは8インチ×3インチです。

ご注文の際はパッケージの種類と下表の破裂圧のレンジをご指定下さい。なお、通常は1回の校正でパッケージ全部のシートを用います。

モデル“A” 高圧用破裂試験機用

Range J	275 - 475 kPa	(40 - 69 psi)
Range K	482 - 614 kPa	(70 - 89 psi)
Range L	621 - 896 kPa	(90 - 130 psi)
Range M	903 - 1172 kPa	(131 - 160 psi)
Range R	1110 - 1379 kPa	(161 - 200 psi)
Range S	1386 - 1724 kPa	(201 - 250 psi)
Range T	1731 - 2068 kPa	(251 - 300 psi)*
Range U	2075 - 2413 kPa	(301-350 psi)*

モデル“C” 低圧用破裂試験機用

Range A	35 - 69 kPa	(5 - 10 psi)
Range AA	76 - 138 kPa	(11 - 20 psi)
Range B	145 - 207 kPa	(21 - 30 psi)
Range C	214 - 345 kPa	(31 - 50 psi)
Range D	352 - 448 kPa	(51 - 65 psi)
Range E	455 - 552 kPa	(66 - 80 psi)
Range F	558 - 758 kPa	(81 - 110 psi)
Range G	765 - 896 kPa	(111-130 psi)
Range H	902 - 1172 kPa	(131-170 psi)

* ラージパッケージのみ用意しています。

このアルミfoilは次の規格に準拠して校正された圧力変換器を有すA型（高圧）破裂試験機とC型（低圧）破裂試験機を用いて分析されています。

PAPTAC D.8, D19, TAPPI T403, T807, ISO 2758, 2759.

本試験機の圧力変換器は、カナダ国立研究所が有す重量基準器圧力計にトレーサビリティができます。

CONTACT

info@igt.co.jp
F

アイジーティ・テストシステムズ株式会社
〒285-0804千葉県佐倉市馬渡1229-1
tel: 043-308-7302 www.igt.co.jp

Follow us



規格適合 標準パルプ PULP 1-04

カナダ規格審議会
認定試験所認定の範囲262



カナダ規格審議会
認定試験所認定262™

当組織のすべての物理試験及び品質保証サービスは、カナダの Standards CouncilによってISO17025 認定を受けています。それらは当組織の顧客のISO 9000品質保証要求事項を遵守します。

漂白イースタン針葉樹クラフトパルプの注文情報

パルプはシート状で、完全に漂白されたイースタン針葉樹クラフトです。454 gパッケージで供給されています。この標準パルプを23 cm×23 cmのシートに切断し、ランダム化し、乾燥を防ぐためにビニール袋に包装されています。試験前2年以上保管されています。

化学的特性

炭水化物

アラビアン (%)	0.7 ± 0.3
キシラン (%)	7.2 ± 1.0
マンナン (%)	5.6 ± 1.1
ガラクトン (%)	0.5 ± 0.2
グルカン (%)	84.3 ± 2.0
カップー値	0.57 ± 0.09
アセトンの抽出物 (%)	0.086 ± 0.007
灰分 (%)	0.074 ± 0.006
硫黄 (mg/kg)	36.6 ± 4.8
ナトリウム (mg/kg)	301 ± 12
カリウム (mg/kg)	<7
カルシウム (mg/kg)	51.4 ± 5.4
マグネシウム (mg/kg)	10.3 ± 0.5
鉄 (mg/kg)	4.5 ± 0.9
マンガン (mg/kg)	1.09 ± 0.04
バリウム (mg/kg)	0.26 ± 0.07

無叩解パルプ物性

離解時間,	10 min
フリーネスCSF, mL	659 ± 13
破裂指数, kPa.m2/g	1.61 ± 0.44
引裂指数 mN.m2/g	20.45 ± 5.57
裂断長, km	2.73 ± 0.43

平均繊維長, mm FQA

数計算平均	1.25 ± 0.08
長さ加重	2.37 ± 0.06
重さ加重	2.86 ± 0.08
P<0.20 mm, %	30.20 ± 2.78
粗度, mg/mM	0.118 ± 0.019
平均カール	0.111 ± 0.006
キンク Index	1.458 ± 0.047

平均繊維長 FS-200

数計算平均	1.27 ± 0.04
長さ加重	2.34 ± 0.03
重さ加重	2.83 ± 0.03
P<0.20 mm, %	23.78 ± 1.77
粗さ, mg/m	0.147 ± 0.026

崩壊: PAPTAC規格に従って処理1. 2%濃度で2リットルの容器を用いてC. データベース63が実行されます。(Kajaani FS-200測定で113回、FQA測定で144回、FQAキンク測定で63回。



- 化学試験はFPInnovationsの認定の範囲内ではありません。
- すべてのデータはパルプ重量O.Dに基づいています。
- 表の各パラメータについて、平均値と標準偏差の2倍が表示されます。
- 100回のうち5回のテストでは、標準偏差の±2倍の範囲で外れます。
- 平均値は、3つの複製の12グループに基づいています。

PFI 叩解パルプの特性

回転数s	フリーネス mL	バルク (1-ply) cm3/g	破裂指数 kPa.m2/g	引裂指数 mN.m2/g	裂断長 km
1 000	624 ± 17	1.76 ± 0.09	4.68 ± 0.53	20.46 ± 2.46	6.27 ± 0.82
4 000	501 ± 19	1.60 ± 0.08	8.00 ± 0.86	12.07 ± 1.65	9.55 ± 1.39
7 000	375 ± 19	1.56 ± 0.07	8.90 ± 0.93	10.69 ± 1.31	10.56 ± 1.26
11 000	237 ± 24	1.52 ± 0.06	9.41 ± 0.89	10.24 ± 1.25	11.27 ± 1.45

2016-01

PFI MILL: 1. 2%濃度で2リットル容器を使用してPAPTAC標準C. 7に従って処理した。36回の実行に基づくデータ。



方 法

化学的特性

炭水化物: ガスクロマトグラフィーにより酢酸アルジトール誘導体として測定。

風乾されたパルプの試料0.10gを、二段階（一次および二次）加水分解にかけます。これは、BorchardtおよびPiper（1）によって記載されたものと同様の手順です。一次加水分解は、30%±1℃で45分間、1.0mLの72%硫酸で行った。次いで加水分解物を28mLの水で希釈し、そしてオートクレーブ中で1時間加熱します。121℃（15psi）で。加水分解期間の終わりに、サンプルを室温に冷却し、濃NH₄OHでpH5.6～6.1に中和し、50mL容量のトリスフラスコに移します。そして水で容量に希釈した。その後、上澄み液が透明になるまで遠心分離します。

各多糖のパーセンテージは、TAPPI T 249 cm-85に記載されているように測定されました。単糖の変換係数多糖は、ペントースが0.88、ヘキソースが0.90です。

(1) L.G. Borchardt and C.V. Piper, Tappi J., 53 (1970) 257.

(2) P.J. Harris, A.B. Blakeney, R.J. Henry, and B.A. Stone, J. Assoc. off. Anal. Chem., 71 (1988) 272.

カップー値: PAPTAC規格G.18に従って決定。

アセトン抽出物: PAPTAC規格G.13およびG.20に従ったソックステキスト抽出によって決定。

灰分: APTAC標準G.30に従って、試料をニトリリン過塩素酸で湿式灰化し、続いて試料を希釈し、そして誘導結合プラズマ（ICP）分光法により分析することにより決定。

硫黄と金属: PAPTAC標準規格G.30に従って試料を硝酸および過塩素酸で洗浄し、続いて試料の希釈、および誘導結合プラズマ（ICP）分光法による分析によって決定。

関連情報

物理的特性

パルプの準備: 試験片は約12 mm四方の大きさの手で挽く必要があります。サンプルを切断しないでください。これは、物理的特性に大きな影響を与える可能性があるためです。パルプの砕解には、最低4時間の室温の蒸留水または脱塩水への浸漬時間が必要です。

無叩解パルプ性の離解特性:

標準的な離解剤中で1.2%濃度（24.00±0.25gの外径2000±20mL）の蒸留水または脱塩水中で10分間。10分の離解のためのデータはPFIミルのための0拍動時間として取られるべきです。

カナダディアン・フリーネス (CSF): 試験は蒸留水または脱イオン水を用いて行われます。精度を向上させるために、すべてのCSF値は体積ではなく重量によって得られます。

粗度試験の手順: 崩壊後、ODパルプ1.0gを適切な容器でパルプ化し、水で2Lに希釈し、PAPTAC Method D.16に従って正確に稠度を測定します。0.001gのODに相当するものを（その後0.0001gまで）移送します。少なくとも2mmの先端開口部直径を有するピペットを使用して繊維長分析器のサンプリングステーションにパルプを通し、そして連続的に攪拌された懸濁液全体を通過させます。粗さ（mg / m）は、長さから決定することができます。

PFI: 各拍動レベルについて、拍動の15分前にパルプサンプル（2000±20mL中24.00±0.25g（外径））を崩壊させます。叩解は蒸留水または脱イオン水を用いて行われます。叩解した後、そしてふりねス測定および手すき紙の調製の前に、パルプを2000±20mLの水中で5分間標準離解剤中で崩壊させます。

試験データ: 表1および表2の各試験について、平均および2回標準偏差が表示されます。100回のうち約5回のテストは、標準偏差の2倍プラスマイナス2倍になります。

追 記:

- 水質は、フリーネス地とハンドシート試験結果に悪影響を及ぼす可能性があります。試験結果。蒸留水または脱塩水を使用する必要があります。水道水はお勧めできません。
- パルプの準備、手すき紙の作成、およびテストが実施されたPAPTACの標準試験方法に準拠しています。上記の結果を再現するために、実験室は上記の手順を厳守し、すべての試験装置を適切に維持し、校正を確実にする必要があります。

CONTACT

info@igt.co.jp
C

アイジーティ・テストシステムズ株式会社
〒285-0804 千葉県佐倉市馬渡1229-1
tel: 043-308-7302 www.igt.co.jp

Follow us



規格適合 標準パルプ

PULP LP 5-96

カナダ規格審議会
認定試験所認定の範囲262



カナダ規格審議会
認定試験所認定262™

当組織のすべての物理試験及び品質保証サービスは、カナダの StandardsCouncilによって ISO17025認定を受けています。それらは当組織の顧客のISO 9000 品質保証要求事項を遵守します。

無漂白イースタン針葉樹クラフトパルプの注文情報

パルプはシート状で、漂白されていないイースタン針葉樹クラフトです。454 gパッケージで供給されています。この標準パルプを23 cm×23 cmのシートに切断し、ランダムに、乾燥を防ぐためにビニール袋に包装されています。試験前2年以上保管されています。

化学的特性

炭水化物

アラビアン (%)	0.7 ± 0.12
キシラン (%)	8.9 ± 1.07
マンナン (%)	6.5 ± 0.63
ガラクトン (%)	0.5 ± 0.09
グルカン (%)	77.2 ± 2.28

カップー値	27.5 ± 1.12
アセトン抽出物 (%)	0.091 ± 0.027
灰分 (%)	0.51 ± 0.018
硫黄 (mg/kg)	594 ± 15.3
ナトリウム (mg/kg)	287 ± 14
カリウム (mg/kg)	14.3 ± 8.4
カルシウム (mg/kg)マ	1620 ± 36
グネシウム (mg/kg)鉄	218 ± 7.2
(mg/kg)	12.4 ± 1.5
マンガン (mg/kg)	91.8 ± 2.2
アルミニウム (mg/kg)	18.3 ± 1.8
亜鉛 (mg/kg)	11.6 ± 3.2
バリウム (mg/kg)	10.6 ± 0.25

無叩解パルプ性

離解時間,	15 min
フリーネスCSF, mL	687 ± 8
破裂指数, kPa.m2/g	2.07 ± 0.12
引裂指数, mN.m2/g	19.17 ± 4.40
裂断長, km	2.92 ± 0.46

平均繊維長, mm FQA

数計算平均	1.15 ± 0.10
長さ加重	2.25 ± 0.08
重さ加重	2.75 ± 0.12
P< 0.20 mm, %	31.72 ± 4.20
粗度, mg/m	0.131 ± 0.034
平均カール	0.069 ± 0.010
キンク指数	0.962 ± 0.070

平均繊維長 FS-200 mm

数計算平均	1.12 ± 0.05
長さ加重	2.27 ± 0.03
重さ加重	2.78 ± 0.03
P< 0.20 mm, %	30.89 ± 2.00
粗さ, mg/m	0.161 ± 0.033

崩壊: PAPTAC規格に従って処理1. 2%濃度で2リットルの容器を用いてC. 68回の実行の平均に基づくデータ。(Kajaani FS-200測定では24回、FQA測定で99回: 2回、FQA キンクインデックスで75回: 2回)。



- 化学試験はFPInnovationsの認定の範囲内ではありません。
- すべてのデータはパルプ重量O.Dに基づいています。
- 表の各パラメータについて、平均値と標準偏差の2倍が表示されます。
- 100回のうち5回のテストでは、標準偏差の±2倍の範囲で外れます。
- 平均値は、3つの複製の12グループに基づいています。

PFI 叩解パルプの特性

回転数s	フリーネスCSF, mL	バルク (1-ply) cm3/g	破裂指数 kPa.m2/g	引裂指数 mN.m2/g	裂断長, km
3 000	609 ± 12	1.68 ± 0.08	6.49 ± 0.56	15.61 ± 1.15	8.47 ± 1.41
5 000	549 ± 8	1.64 ± 0.06	7.92 ± 0.65	13.11 ± 1.41	9.74 ± 1.50
10 000	378 ± 20	1.57 ± 0.07	9.21 ± 0.79	11.63 ± 1.41	10.67± 1.56
15 000	229 ± 27	1.53 ± 0.06	9.90± 0.85	11.15 ± 1.65	11.34± 1.55

2016-01

PFI MILL: 1. 2%濃度で2リットル容器を使用してPAPTAC標準C. 7に従って処理した。36回の実行に基づくデータ。



方 法

化学的特性

炭水化物: ガスクロマトグラフィーにより酢酸アルジトール誘導体として測定。

風乾されたパルプの試料0.10 gを、二段階（一次および二次）加水分解にかけます。これは、BorchardおよびPiper（1）によって記載されたものと同様の手順です。一次加水分解は、30%±1℃で45分間、1.0mLの72%硫酸で行った。次いで加水分解物を28mLの水で希釈し、そしてオートクレーブ中で1時間加熱した。121℃（15psi）で。加水分解期間の終わりに、サンプルを室温に冷却し、濃NH₄OHでpH5.6に中和し、50mL容量のトリスフラスコに移します。そして水で容量に希釈した。その後、上澄み液が透明になるまで遠心分離します。

各多糖のパーセンテージは、TAPPI T 249 cm-85に記載されているように測定されました。単糖の変換係数多糖は、ペントースが0.88、ヘキソースが0.90です。

(1) BORCHARDT L.G. and C.V. Piper. Tappi Journal, Vol. 53, p. 257, 1970..

(2) HARRIS P.J., Blakeney A. B., Henry R. J. and B. A. Stone, J. Assoc. off. Anal. Chem., Vol. 71, p. 272, 1988.

カップパー値: DPAPTAC規格G.18に従って決定。

アセトン抽出物: PAPTAC規格G.13およびG.20に従ったソックスステキスト抽出によって決定。

灰分: DPAPTAC規格G.10に従って、試料を575℃で焼却することにより決定。

硫黄および金属: PAPTAC規格G.30に従って、試料を硝酸および過塩素酸で湿式灰化し、続いて試料を希釈し、誘導結合プラズマ（ICP）分光法により分析することにより決定。

関連情報

物理的特性

パルプの準備: 試験片は約12 mm四方の大きさの手で挽く必要があります。サンプルを切断しないでください。これは、物理的特性に大きな影響を与える可能性があるためです。パルプの砕解には、最低4時間の室温の蒸留水または脱塩水への浸漬時間が必要です。

無叩解パルプ性の離解特性: 標準的な離解剤中で1.2%濃度（24.00±0.25 gの外径2000±20 mL）の蒸留水または脱塩水中で10分間。10分の崩壊のためのデータはPFIミルのための0拍動時間として取られるべきです。

カナダディアン・フリーネス(CSF): 試験は蒸留水または脱イオン水を用いて行われます。精度を向上させるために、すべてのCSF値は体積ではなく重量によって得られます。

粗度試験の手順: 崩壊後、ODパルプ1.0 gを適切な容器でパルプ化し、水で2 Lに希釈し、PAPTAC Method D.16に従って正確に稠度を測定します。0.001 gのODに相当するものを（その後0.0001 gまで）移送します。少なくとも2 mmの先端開口部直径を有するピペットを使用して繊維長分析器のサンプリングステーションにパルプを通し、そして連続的に攪拌された懸濁液全体を通過させます。粗さ（mg / m）は、長さから決定することができます。

PFI: 各拍動レベルについて、拍動の15分前にパルプサンプル（2000±20 mL中24.00±0.25 g（外径））を崩壊させます。叩解は蒸留水または脱イオン水を用いて行われます。叩解した後、そしてフリーネス測定および手すき紙の調製の前に、パルプを2000±20 mLの水中で5分間標準崩壊剤中で崩壊させます。

試験データ: 表1および表2の各試験について、平均および2回標準偏差が表示されます。100回のうち約5回のテストは、標準偏差の2倍プラスマイナス2倍になります。

追 記:

- 水質は、フリーネス値とハンドシート試験結果に悪影響を及ぼす可能性があります。試験結果。蒸留水または脱塩水を使用する必要があります。水道水はお勧めできません。
- パルプの準備、手すき紙の作成、およびテストが実施されたPAPTACの標準試験方法に準拠しています。上記の結果を再現するために、実験室は上記の手順を厳守し、すべての試験装置を適切に維持し、校正を確実にする必要があります。

CONTACT

info@igt.co.jp
D

アイジーティ・テストシステムズ株式会社
〒285-0804 千葉県佐倉市馬渡1229-1
tel: 043-308-7302 www.igt.co.jp

Follow us



標準適合 標準パルプ

PULP E-16

カナダ規格審議会
認定試験所認定の範囲262



カナダ規格審議会
認定試験所認定262™

当組織のすべての物理試験及び品質保証サービスは、カナダのStandardsCouncilによってISO17025認定を受けています。それらは当組織の顧客のISO 9000品質保証要求事項を遵守します。

漂白ユーカリクラフトパルプ注文情報

このパルプはシート状で販売されている完全に漂白されたユーカリクラフトです。これは約400グラムのパッケージで供給されます。この標準パルプは22 cm x 22 cmのシートに切断され、ランダムに、乾燥を防ぐためにビニール袋に包装されています。

物理的特性 12の測定値に基づくすべての値

無叩解パルプ物性	値	± 2 標準許容誤差
離壊時間, min	10	
フリーネス CSF, mL	501	43
ショッパー・リグラー, SR	24	3
バルク, cm ³ /g	24	3
破裂指数, kPa.m ² /g	0.71	0.13
引裂指数, mN.m ² /g	3.04	0.58
裂断長, km	1.93	0.18
平均繊維長, mm FQA		
数計算平均	0.62	0.01
長さ加重	0.78	0.01
重さ加重	0.87	0.02
粗度, mg/m	0.065	0.004



崩壊: 1.2リットルのコンシステンシーで2リットルの容器を使用してPAPTAC規格C.10Pに従って処理した。12サンプルに基づくデータ。

PFI 叩解パルプの特性

回転数/s	フリーネス CSF, mL	ショッパー リグラー SR	バルク (1-ply) cm ³ /g	破裂指数 kPa.m ² /g	引裂指数 mN.m ² /g	裂断長, km
1 000	396 ± 17	31 ± 2	2.00 ± .06	1.56 ± 0.25	5.62 ± 1.07	3.35 ± 0.46
3 000	334 ± 33	37 ± 1	1.91 ± .07	2.15 ± 0.35	7.16 ± 1.35	4.20 ± 0.60
6 000	280 ± 18	44 ± 4	1.83 ± .09	2.79 ± 0.65	8.02 ± 1.09	5.00 ± 0.84

2017-09

PFI MILL: 1.2%濃度で2リットル容器を使用してPAPTAC標準C. 7に従って処理した。9回実施のデータベース。

• すべてのデータはパルプの0.0重量に基づいています。

• 表内の各パラメータについて、標準値の平均と2倍偏差が表示されます。100回で約5回のテストが標準偏差の±2倍の範囲外になります。



物理的特性

パルプの準備: 試験片は約12 mm四方の大きさの手で挽く必要があります。サンプルを切断しないでください。これは、物理的特性に大きな影響を与える可能性があるためです。パルプの砕解には、最低4時間の室温の蒸留水または脱塩水への浸漬時間が必要です。

無叩解パルプ性の離解特性: 標準的な離解剤中で1.2%濃度 (24.00 ± 0.25 gの外径 2000 ± 20 mL) の蒸留水または脱塩水中で10分間。10分の離解データはPFIミルのための0拍動時間として取られるべきです。

カナダエディアンフリーネス(CSF): 試験は蒸留水または脱イオン水を用いて行われます。精度を向上させるために、すべてのCSF値は体積ではなく重量によって得られます。

粗度試験の手順: 崩壊後、ODパルプ1.0 gを適切な容器でパルプ化し、水で2 Lに希釈し、PAPTAC Method D.16に従って正確に稠度を測定します。0.001 gのODに相当するものを（その後0.0001 gまで）移送します。少なくとも2 mmの先端開口部直径を有するピペットを使用して繊維長分析器のサンプリングステーションにパルプを通し、そして連続的に攪拌された懸濁液全体を通過させます。粗さ (mg/m) は、次に、長さから決定することができます。

PFI: 各拍動レベルについて、拍動の15分前にパルプサンプル (2000 ± 20 mL中 24.00 ± 0.25 g (外径)) を崩壊させます。叩解は蒸留水または脱イオン水を用いて行われます。叩解した後、そしてろ水度測定および手すき紙の調製の前に、パルプを 2000 ± 20 mL の水中で5分間標準崩壊剤中で崩壊させます。

追記事項:

- 水質はフリーネス及びハンドシートの試験結果に悪影響を及ぼす可能性があります。蒸留水または脱イオン水を使用してください。水道水はお勧めできません。

- パルプの準備、手すき紙の作成および試験 PAPTAC Standard Methodsに従って実施します。これらの結果を再現するために、検査室は、作業手順が厳密に守られていること、そしてすべての検査機器が適切に維持され、校正を確実にする必要があります。

CONTACT

info@igt.co.jp
E

アイジーティ・テストングシステムズ株式会社
〒285-0804 千葉県佐倉市馬渡1229-1
tel: 043-308-7302 www.igt.co.jp

Follow us

